

平成29年 3月 7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成29年 2月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成29年 2月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 28 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362	562	563
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584
顧客口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201
一般顧客	49,244	47,950	48,396	48,825	49,273	48,465	48,378	49,173	49,046	48,987	49,458	49,201
金融法人 (B to B)	11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000

年 月	平成 29 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	458	412										
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	95,875	77,214										
顧客口座数 (単位：口座)	292,553	294,472										
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,221	60,814										
一般顧客	49,392	49,446										
金融法人 (B to B)	10,828	11,368										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年 5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
5. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものと B to B 取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 2月次の概況 >

2月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル=112円台後半で取引が始まり、前月に続き方向感に乏しい相場状況の中、FOMC（米国連邦公開市場委員会）での金利据え置きや欧州における極右勢力台頭の動きを背景に徐々に値を下げ7日には年初来の安値となる111円台半ばをつけました。その後も、相場は膠着状態が継続し、イエレンFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言をきっかけに15日には114円台後半をつける局面はありましたが、111円台後半から114円台後半にかけての狭いレンジでの相場推移となり、112円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米ドル／円と同様に軒並み値動きの小さい相場推移となり、米ドル／円を含めた全体としての変動率は前月を下回る結果となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円をはじめとして大きく減少し、前月比19%減少の772億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が依然高水準であるものの前月と比べ減少したことから、全体としての収益性が若干改善され前月比10%減少の412百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,919口座増加の294,472口座と堅調な推移となり、外国為替取引預り証拠金も、B to B取引先である金融法人からの預り証拠金の増加もあり、前月比593百万円増加の60,814百万円となりました。

以 上